

令和元年度 苦情・不満・意見・要望の申出と対応の状況

申出：①

申出日	令和2年1月31日
内容及び理由	保護者が保育や子どもの様子が見られるような保育参観を実施してほしい。
対応・改善	<p>園では年間行事を作成し、保護者参加型の行事等を以下の様に実施し、その活動の中で目的やねらいを定め、保護者の方にはお子さまの成長を見ていただけるように計画しております。</p> <p><u>ア. 親子参加型バス遠足（年少児～年長児）、親子参観（0～2歳児）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で友達とのふれあいを深める。 ・慣れ親しんだ保育士や友達と楽しく過ごす。 ・公共施設に行くことで、公共の施設でのマナーを学ぶ。 ・場所や季節による自然や科学や文化など、園では体験できない体験学習を行う。 <p><u>イ. 運動会（全園児）、マラソン大会（年少児～年長児）、サッカー大会（年中児、年長児）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことにより基本的な動きを身につける。 ・生涯にわたって健康を維持し、積極的に活動に取り組み、豊かな人生を送るための基盤づくり。 ・友達と共有意識を高め、協力やルールを学ぶ。 ・練習の成果を披露する楽しさや高揚感、仲間たちと協力して一つの目標へ向かう楽しさや達成感を習得する。 <p><u>ウ. おゆうぎ会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージを音や動き、絵などで表現し、演じる楽しさを味わう。 ・友達と共通の目的に向け協力しあい、歌詞や台詞を覚えることで、文字に親しみ語彙が豊富になるとともに、歌詞や台詞からイメージを膨らませ、想像性や豊かな感性を育む。 ・いろいろな気づきや発見により、創意工夫する態度や美的感覚を培う。 <p><u>エ. 子育て支援事業「ニキラリー」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携をはかる。 ・育児、教育をアピールすることで、地域に子育て支援の関心を持ってもらう。また、子育て支援の重要性を知ってもらい、子育てしやすい地域づくりを一緒に考える。 ・有識者の知識でさまざまな体験をすることで、興味、探究心、創造性を育む。 ・さまざまな経験により、場所、使い方、ルール、忍耐力など習得する。

これらの活動を行う導入のやり方を工夫し、日常の生活の一部、例えば、出席、排泄、先生との約束事項等の問いかけなどを保護者の方にご覧いただけるよう、担任と工夫し時間をつくります。友達との関わりや、お子さまの活動の様子は、これらの行事から見ていただきますようお願いいたします。保護者同士のつながりは、このような行事の中から、ご自身で積極的にお声かけいただくか、ご希望があれば担任がつながりやすい様に声かけなどの配慮をいたします。

現在予定している行事に付け加え、また一つ保育参観を足すということは、子どもたちにも職員出勤状況にも負担をかけてしまいます。

子どもたちへの負担とは、近年の環境問題とも大きく影響があります。夏は暑すぎて慎重に保育をしていかなければなりません。12時間開所の中、長時間保育をされているお子さんも多くいます。厳しい気候環境の時期は、子どもたちに無理をさせずに、安全に努めるため、行事の縮小や同時開催などを行っています。

職員への負担とは、職員配置については国、地方行政から厳しく指導されています。現在の世情は保育士不足で頭を抱えている状況ともいえます。日々の保育が滞りなく運営できるよう重点を絞り、目的を果たしています。

また、給食参観ですが、以前は法人内の園で給食参観などを行っていましたが、不特定多数の見学者や部屋のスペース確保の厳しさといった問題点もありました。また、衛生面の都合上、口頭指摘を保健所から受けたこともあり、法人内では取りやめた経緯です。給食職員配置も厳しく、日々、子どもたちに安全に給食を提供することが精一杯の状況です。そのため、現時点では給食参観は予定していません。

なお、バザーでの食品販売は保健所の基準によって指導を受けております。このような環境、人的状況により、夏季の保育を軽減し、行事等の調整のため、保育参観のバス遠足と保護者総会、秋祭りとマラソン大会など、同日にさせていただいた所存です。

私たちのできることはお子さまの様子を保護者の方に知っていただくことです。今後も職員と話し合い、配慮に努めてまいります。

申出：②

<p>申出日</p>	<p>令和2年1月31日</p>
<p>内容及び理由</p>	<p>「ニキラリー」のような大型のイベントが保育参観だということに納得がいきません（高額な体験料がかかるものがある。系列園との合同であることなど）。</p>
<p>対応・改善</p>	<p>子育て支援事業「ニキラリー」を保育参観と称したことは、ご指摘のとおり少し誤解のある表現だったと思います。正しくは、「ニキラリーと年中児・年長児のサッカー大会」と表記することが正しかったかと思います。誤解を招いてしまったことについては、大変申し訳なく思います。</p> <p>届出：①でも述べたように、行事数の調整のため、昨年度より、いくつかの行事を合同で行っております。太陽の森の保護者の方は就労されている方、ご兄弟で入園されている方が多くいらっしゃいます。保護者の方の負担をなるべくさけるため、夏季以外の日程の中で、一緒に行くようにしています。</p> <p>このように行事の調整も、これまでの保護者の方からのご意見をいただき、少しずつ園の状況もご理解いただきながら、時代の変化や環境問題、人的問題を考慮しながら調整しており、今後もしていく所存です。</p> <p>「ニキラリー」では、有料のあそび場については自由参加です。体験されたい方がご利用されています。その他のフリースペースでは無料のあそび場もご用意しております。</p> <p>系列園との合同については、現在は年長児のお泊まり保育、サッカー大会、ニキラリーが合同となっています。和泉会では、いろいろな経験を踏まえた多様性も重視しており、園生活以外の場所や人との出会いも大切だと思っています。そのため、散歩や買い物、職場訪問、奉仕活動などに参加し、地域と交流をはかっています。系列園との交流も大きく意味があり、お泊まり保育やサッカー大会では、自分の園以外の先生の指示を聞いて活動したり、園以外の友達と遊んだり、話をしたりすることも、今後、園を卒園し、次のステップに行くための予行練習だと考えています。</p> <p>和泉会では「保育参観」についてこのように考えています。イメージとは多少違うこともあるかと思いますが、私どもも今回の貴重なご意見を参考に今後とも検討してまいりたいと思います。</p>